

II-6

生活も遊びも 子どもと一緒に楽しもう！

<エピソード 1>

4歳の誕生日を迎えたあゆむくん。あゆむくんは、共働きのお父さんとお母さんと暮らしています。今日は、日曜日。お母さんは、夕食の準備を始めました。あゆむくんは、おもちゃをたくさんだしたままでお父さんとテレビを見ています。

お母さんが「あゆむくん！片付けてからテレビを見るって何度言ったらわかるの？」と強い口調で言いますが、お父さんもあゆむくんもテレビに夢中。

お母さんは、「もう！！片付けないと夕ご飯なしだよ！！！」と大きな声を出してしまいました。



Work①

あゆむくん、お母さん、お父さん、
それぞれの気持ちを考えてみましょう。

あゆむくん

お母さん

お父さん

Work②

あゆむくんの家族が、心地よくすごせるようにするには、
どうしたらいいでしょうか。



<エピソード 2>

5歳のあけみちゃんは、妹のゆみちゃんと遊ぶことが大好きです。今日、二人でお絵描きをしています。お母さんが、二人の様子を見てみると、最初は妹のゆみちゃんも自分の紙に好きな絵を描いていましたが、あけみちゃんが描いているお姫様の絵がほしくなり「ちょうだい、ちょうだい・・・」とせがんでいます。

すぐに絵をもらえないゆみちゃんは、あけみちゃんの描きかけの絵に自分も描こうとし始めました。



Work③ あなただったら、あけみちゃんにどのように声をかけますか。

Work④ あなただったら、ゆみちゃんにどのように声をかけますか。

資料

「ノリ」* を共有すると生活も遊びも楽しい!

「ノリが合う」「ノリが違う」…など、私たちは日常的にこの「ノリ」というリズムの中で生活しています。並んでキッチンに立ち一緒に料理をすること、同じ道具を持ち一緒に作業をすること…ここには全て「ノリ」が存在し、「ノリ」が合っていれば、心地よい雰囲気や状況が作られていくのです。子どもを含め他者と「ノリ」が合いやすくなる秘訣は、「はじめはゆっくり、大きく“オノマトペ（擬声語・擬態語）”を声や行動に現わすことです。

例えば…

<並んでキッチンに立ち一緒に料理をする場面>

混ぜる動作→「まぜ、まぜ、まぜ」「ぐる、ぐる、ぐる」「シャカ、シャカ、シャカ」

切る動作→「トン、トン、トン」「シャツ、シャツ、シャツ」「びりびりびり」

<同じ道具を持ち一緒に作業をする場面>

物を引っ張る時→「うんとこしょ、どっこいしょ」「よいしょ、よいしょ」

◎子どもと一緒に声を出しながら、リズムに乗って作業したり、遊んだりすることで、気持ちが通じ合い、身体も心も躍るような楽しい気分で生活できます。



※「ノリ」とは、岩田遵子氏が規定した概念です。保育実践における子どもの主体的な遊びを保障するリズム・気分を指します。

<参考文献>吉田龍宏・渡辺桜(2014)「遊び保育のための実践ワーク」萌文書林